

体験学習をどうぞ 070

2023. 3. 29 (水)

【公立高校入試対策：中学2年数学】

1次関数

変化の割合と初期値の利用(その1)

1次関数：変化の割合型(増加する関数)

1次関数の文章題の続きです。

問題文より，変化の割合と初期とを読み取って

1次関数の式を作りました。

$y = a x + b$ で，すべて a が正の場合，つまり”増加”する関数を扱いました。

1次関数：変化の割合型(減少する関数)

当然，”増加”があれば”減少”があるのが世の定めです。

そうでしょ，A子くん！

生徒A子：「おっつと，急にふらんといて…

心の準備というもんだ，あるんだから…」

え？お話，聞いてたんじゃないの？

生徒A子：「はい，聞いていましたが…」

では，いきます。

前回と同様，問題文から変化の割合と初期値を読み取ることから始めます。

しかし， $y = a x + b$ の a （変化の割合）は負の数です。

このことが，少し全体の状況をややこしくしてます。

”増加”する関数については，すっかり忘れ，

心を真っ白にして学習してみてください。

よ～く，分かるようになります。

生徒A子：「ほいっ！A子，忘れるの，得意だよ！」

…！？

では，”減少”する関数に関する文章題のお勉強を始めましょう。

生徒A子：「ほい。」

関数は，増えるだけ？，減るだけ…？

あ，付録ですが…

1次関数には，

増加する関数と

減少する関数

の2種類しかありません。

増えるか減るか、を考えることは、

1次関数の文章題を解くうえで、とてもとても大切なことです。

生徒A子：「あれ～？

増えも減りもしない1次関数ってあったような…」

そうでした、

ころっと、忘れておりました。

軸に平行な関数は増えも減りもしません。

$x = 5$ とか、 $y = 2$ などですね。

あなたねえ、

変なことを覚えているねえ！

生徒A子：「…」 # \$ % ? ?」

ついでに、もう1つ、付録をつけておきます。

3年になると、増えてから減る関数とか、減ってから増える関数なんてのも出てきます。

高校になると、増えてから減ってまた増える関数なんてのもでてきます。

もちろん、増えてから減ってまた増えてまた減ってまた増える関数なんてのもでてきます。

波打つように同じサイクルで増減を繰り返す関数もでてきます。

2次関数とか3次関数とか4次関数とか三角関数と呼ばれる関数です。

関数は、果てしなく発展していきます。いま、その入り口に立っているのです。

あたまのどこかにしまっておいて下さい。



中2 数学・1次関数 No.29

体験学習

1 1次関数の利用の基本（その1）

■ 変化の割合と初期値の利用② ■

★スマホの機種によっては、体験学習へのリンクができないものがあります。その場合には、PCでご覧下さい★

■演習問題は、数専ゼミ・山形・東原教室で個人指導を受けることができます■

■「中2 数学・1次関数」★ 学習計画書 ★

([ブラウザのバック矢印](#)でこの文書に戻ることができます。)

入試の1次関数に強くなる数専ゼミの関数指導

数専ゼミ・山形東原教室

〒990-0034 山形市東原町二丁目10番8号

TEL: (023)633-1086 / FAX: (023)633-1094

メールアドレス: suusen@seagreen.ocn.ne.jp